

令和 2 年度試験研究課題数一覧

1 予算区分別課題数

項目 場別	農業関係試験場費(13目)									13目以外	
	課題 数 計	高度化等開発研究				県 プ ロ	新資材試験等 協力研究		素 材 開 発	農 政 部 各 課	左 記 以 外
		イノベ 事業	現場 ニーズ	革新 展開	その他		植防 ・ 財団	民間 受託			
農業試験場 (研究職員数 28 名)	24 (3) [2]		4 (1)		5 (1)	4 [2]	2	1 (1)	8	6 [1]	
果樹試験場 (研究職員数 21 名)	19 (4) [2]		1 (1)	1	4 (1)	7 (2) [2]	2		4	1	
野菜花き試験場 (研究職員数 43 名)	33 (6) [1]	5 (2)	4	3	5 (2)	5 (1) [1]	2	1 (1)	8	5	
畜産試験場 (研究職員数 18 名)	9	1		1				2	5	7 [1]	
南信農業試験場 (研究員職数 7 名)	6						2		4	1	
計 (研究員数 117 名)	91 (13) [5]	6 (2)	9 (2)	5	14 (4)	16 (3) [5]	8	4 (2)	29	20 [2]	

(注) 1 () 内は、課題数のうち本年度の新規課題数(主査場のみ)。

2 予算区分のうち「13目以外(農業関係試験場費以外)」について農政部各課は、農政部の課・室が予算計上したもの。それ以外は商工労働部等の他部局が予算計上したもの。

3 共同で実施する研究課題について

県内の農業関係試験場間の共同研究課題は主査場の課題数とし、共同場は [] 内に分担課題数を入れた。

4 研究員数は、研究職給料表該当者のうち場長を除く、当該年度4月1日現在員数とした。

2 令和2年度開発的研究新規課題（13 課題）

（ 課 題 名 ）

（研究期間）

（担当場）

[イノベーション創出強化研究推進事業 2 課題]

- ・加工業務用ブロッコリーの国産化を実現する大型花蕾生産技術と加工流通体系の確立 R2～4 野菜花き試験場
- ・アスパラガス生産に働き方改革を！改植技術「枠板式高畝栽培」を基盤とした省力安定栽培システムの開発 R2～6 野菜花き試験場

[現場ニーズ対応プロジェクト研究 2 課題]

- ・品種多様性拡大に向けた種子生産の効率化技術の開発 R2～6 農業試験場
- ・果樹等の幼木期における安定生産技術の開発 R2～6 果樹試験場

[その他 スマート農業 1 課題]

- ・中山間地域におけるキャベツ収穫機械体系の実証 R2 農業試験場・野菜花き試験場

[その他 国研等受託 3 課題]

- ・我が国の輸出に有利な国際的検疫処理基準の確立、実証委託事業 R2 果樹試験場
- ・養液土耕栽培や短茎多収栽培等による国産切り花類の生産性向上技術の実証 R2～4 野菜花き試験場
- ・病害虫データを例とした農業技術ビッグデータの活用技術の構築 R2 野菜花き試験場

[新資材等民間受託試験 2 課題]

- ・情報処理等先端技術の活用による高生産システムの確立 R2～3 農業試験場
- ・トルコギキョウの灌水制御に関する栽培試験 R2 野菜花き試験場

[県単プロジェクト研究 3 課題]

- ・ぶどう「クイーンルージュ®」のブランド化を推進する高品質果房の安定生産技術の開発 R2～4 果樹試験場
- ・「麗玉®」のトップブランドを目指した高水準果実の安定生産技術の開発 R2～4 果樹試験場
- ・水田転換畑での野菜安定生産に向けた最適な排水対策と適正施肥によるブロッコリー収益性向上技術の確立 R2～4 野菜花き試験場

3 令和2年度で終了する開発的研究課題（19 課題）

（ 課 題 名 ）	（研究期間）	（担当場）
[イノベーション創出強化研究推進事業 1 課題]		
・トルコギキョウ立枯病害因子の探索と比較ゲノム解析を利用した抵抗性遺伝子座の同定	H30～R2	野菜花き試験場
[現場ニーズ対応プロジェクト研究 2 課題]		
・健康を増進する機能性野沢菜の開発（地域の農林水産物・食品の機能性発掘のための研究開発）	H29～R2	野菜花き試験場
・薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発	H28～R2	野菜花き試験場
[革新的技術開発・緊急展開事業 5 課題]		
・果実生産の大幅な省力化に向けた作業用機械の自動化・ロボット化と機械化樹形の開発	H28～R2	果樹試験場
・高温対策に効果的な技術を組み合わせた施設トマトの周年安定生産技術の開発	H30～R2	野菜花き試験場
・生育予測と環境制御技術等を活用したトルコギキョウの高品質・安定生産技術の開発	H30～R2	野菜花き試験場
・海外遺伝資源等を活用した極多収大豆育種素材の開発	H28～R2	野菜花き試験場
・気象リスクに対応した安定的な飼料作物生産技術の開発	H30～R2	畜産試験場
[その他 スマート農業 1 課題]		
・中山間地農業を支える集落営農におけるスマート農業技術を駆使した先進的水田複合経営の実証	R1～R2	農業試験場
[その他 国研等受託 4 課題]		
・減農薬栽培に対応したイネばか苗病等の種子消毒体系の確立	H30～R2	農業試験場
・農地土壌炭素貯留等基礎調査	H26～R2	農業試験場
・DMI 剤感受性低下菌対策を主眼としたリンゴ黒星病防除体系の確立	H30～R2	果樹試験場
・病害虫データを例とした農業技術ビッグデータの活用技術の構築	R2	野菜花き試験場
[新資材等民間受託試験 1 課題]		
・水田を活用した資源作物の効率的生産・供給技術の確立	H30～R2	畜産試験場
[県単プロジェクト研究 5 課題]		
・プレミアム果実生産を後押しするハンディ型熟度測定機の開発	H29～R2	農業試験場
・植物体中農薬量の評価によるキャベツ類害虫の生育初期防除体系の構築	H30～R2	農業試験場
・皮ごと食べられる赤色ぶどう「ブドウ長果 11」の早期品種登録と普及促進のための栽培技術・品種識別技術の確立	H29～R2	果樹試験場
・高収量を目的とした「シナノスイート」と「シナノゴールド」の高密植栽培における省力栽培技術の開発	H30～R2	果樹試験場
・UV-B を核とした夏秋どりイチゴ IPM の確立	H30～R2	野菜花き試験場